

2025年 安全重点施策達成状況

安全重点施策	達成状況
1. 海難事故ゼロを維持する。	
① 出入港時は、陸上との連携を密にし、港内状況を確実に把握する。	気象状況や船舶の動静の情報交換を電話および無線機で行った。
② 航法に沿った運航の確実な実施および関係法令の習熟度を高める。	濃霧発生時の運航マニュアル教育および海上衝突予防法教育を実施した。
③ 皆で情報共有を徹底し、事故の芽をつぶす。	荒天時に運航協議を重ね、安全運航に努めた。
2. 労災事故ゼロを目指す。	
① 基本動作を励行する。	安全教育を実施した。
② 気づき、ヒヤリ・ハット情報を活用し、事故防止に努める。	気づき、ヒヤリ情報を各部署に周知しているが、いまだに件数が少ない。
③ 危険予知ミーティングを確実に実施する。	作業前にKYミーティングを実施し、記録は報告書に記載していることを確認した。
④ WIB(自主改善活動)を活用した職場環境の維持・向上を継続する。	今年度は大きな改善の申し出はなかったが、日々の船内環境の改善に努めた。
3. 車両接触事故等のトラブルの芽を摘む。	
① 過去の事故事例を活用し、再発防止に努める。	作業手順教育を実施した。
② 車両の特徴を把握し、適切な対応を行う。	作業手順教育を実施し、各船とも作業内容を共有し、転船時にも対応できるようにした。
4. 万一の事故・災害に備える。	
① 社内訓練、教育を計画的に実施する。	教育訓練実施計画に基づいて実施した。
② 過去の訓練後のアンケート結果を反映し、訓練内容を向上させる。	訓練実施前に、過去の訓練反省点および優良事例を回覧した。
③ 災害に関する規程の整備、見直しを行う。	・「南海トラフ地震臨時情報」発表時の対応方針の制定 ・テロ対応マニュアルの改正 ・津波避難マニュアルの改正 ・異例事態対応マニュアルの制定 ・BCPの改正
④ 平素から連絡を密にし、情報共有に努める。	ライングループを作り、情報共有した。
⑤ 日頃よりあらゆる災害を意識し、いかなる場合にも対応できるよう心掛ける。	インターネットやテレビからの災害情報を皆で共有した。